

東京五輪・パラリンピック見据え、スポーツ庁発足

文部科学省の外局として、国のスポーツ施策の司令塔機能を担うスポーツ庁が1日、発足した。各省庁にまたがるスポーツ行政の縦割り解消が狙い。2020年東京五輪・パラリンピックを見据えて選手強化を図るほか、障害者スポーツの振興なども担う。

初代長官には、1988年ソウル五輪100メートル背泳ぎ金メダリストの鈴木大地氏（48）が就任。同日午前、文科省正面玄関前で看板除幕式を行った。

鈴木長官は会見で国民の健康増進にも力を入れる考えを示し、「年間40兆円の医療費を中長期的に軽減するための施策を展開したい」とした。また学校体育や部活動でも新しい展開を試みるとし、「一般の障害者もスポーツに取り組めるようにしたい」と

話した。

同庁は文科省スポーツ・青少年局（3課、職員76人）を母体に、厚生労働省など7府省から人員を確保。5課121人体制でスタートした。5課のうち「健康スポーツ課」には「障害者スポーツ振興室」が設けられた。

障害者スポーツをめぐる厚労省の業務は一部を除き2014年度から文科省に移管。今年5月には文部科学省設置法改正案が成立し、スポーツ庁の発足がまわっていた。文科省は2016年度予算の概算要求に、スポーツ関連予算として過去最高の367億円を計上している。

（福祉新聞・第2734号 2015年10月12日）

お知らせ

日本リハビリテーション連携科学学会第17回大会

日程：2016年3月19日（土）・20日（日）
会場：国際医療福祉大学大田原キャンパス（栃木県大田原市北金丸2600-1）
大会テーマ：共に生きる社会の実現と連携
大会長：黒澤和生（国際医療福祉大学小田原保健医療学部副学部長・理学療法学科長）
実行委員長：谷口敬道（国際医療福祉大学保健医療学部作業療法学科長）

主催：日本リハビリテーション連携科学学会
共催：国際医療福祉大学
参加費：一般・前納5,000円、一般・当日6,000円、学生・前納2,000円、学生・当日3,000円、一般（当事者の方）3,000円、介助の方は無料（事前参加申し込み期限は2016年2月29日）
申し込み先：reharenkei17sanka@iuhw.ac.jp 学会ホームページ：<http://www.reha-renkei.org/>

お知らせ

認知症予防の理論と実際

日時：2015年12月12日（土）10:00～16:00
講師：島田裕之先生（国立長寿医療研究センター）、坂元玲介先生（合同会社P-BEANS）、長谷川弘道先生（名古屋フィジカルフィットネスセンター）
会場：電気文化会館イベントホール（愛知県名古屋市中区栄2丁目2-5）
参加費：5,000円（当日、会場でお支払いください）

定員：300名（定員に達し次第締め切り）
申し込み方法：メールにてお申し込みください。宛先：tourinrehaken@gmail.com、件名：12月認知症予防セミナー申し込み、本文：①氏名（よみがな）、②所属先、③職種（経験年数）
主催：東海臨床リハビリテーション研究会
<http://tourinrehaken.wix.com/trrkhph>